

## リニア中央新幹線の事業計画に反対する土地トラストの目的

1. JR東海は、ずさんな環境影響評価と、不十分な説明のまま、リニア中央新幹線事業の着工計画を、各地で強引に進めています。これは、事業計画に反対する住民をあきらめさせようとするJR東海の手法であり、事業計画に見通しが有る訳ではありません。

一方、相模原市緑区内では、住民の土地測量を強引に進めようとする動きが急です。

2. 「リニア新幹線を考える相模原連絡会」は、建設阻止の意思を貫くため、土地所有者の協力と了解を得て、緑区鳥屋の車両基地の計画区域内の予定土地に地上権を設定することになりました。

3. 「リニア新幹線を考える相模原連絡会」(以下「連絡会」)は、鳥屋における、車両基地の計画区域内の予定地4000㎡の山林に地上権を、「連絡会」有志11名が登記、分有し、その権利を主張することによって、JR東海が進めるリニア事業計画の阻止や、遅延を図る合法的な行為を行う決意です。

4. 「リニア新幹線を考える相模原連絡会」は今後、鳥屋地域の住民の皆さんと共に、自然豊かな住環境を保全し、相模原市民、全国民に対して、リニア中央線建設計画の問題点、計画の不当性を訴え、JR東海に対する計画の中止、住民、国民に対する十分な情報公開を要求します。国土交通省に対しては、リニア中央新幹線計画の事業認可取り消しを求めます。神奈川県、相模原市に対しては、県民、市民の水源、住環境を守るためにも、リニア中央線建設計画に協力しないよう要請します。

2016年4月22日

「リニア新幹線を考える相模原連絡会」 代表 浅賀 きみ江

相模原市緑区東橋本2-6-2 TEL 090-4378-9257